

2015年度第2四半期 決算ハイライト

2015年11月13日

本資料には、当社又は当社グループの業績、財政状態その他経営全般に関する予想、見通し、目標、計画等の将来に関する記述が含まれています。

かかる記述は、現時点における予測、認識、評価等を基礎として記載されています。また、将来の予想、見通し、目標、計画等を策定するためには、一定の前提(仮定)を使用しています。これらの記述ないし前提(仮定)は、その性質上、将来その通りに実現するという保証はなく、客観的には不正確であったり、実際の結果と大きく乖離する可能性があります。

そのような事態の原因となりうる不確実性やリスクの要因は多数あります。その内、現時点において想定しうる主な事項については、決算短信、有価証券報告書、ディスクロージャー誌、Annual Reportをはじめとした当社の公表済みの各種資料の最新のものをご参照ください。

<本資料における計数の定義>

連結	: 三菱UFJフィナンシャル・グループ(連結)
2行合算	: 三菱東京UFJ銀行(単体)と三菱UFJ信託銀行(単体)の単純合算

目次

• 2015年度第2四半期業績の概要	3
• 損益サマリー	4
• 親会社株主純利益の概要	5
• 事業本部別業績概要	6
• B/Sサマリー	7
• 貸出金・預金	8
• 国内預貸金利回り	9
• 貸出資産の状況	10
• 保有有価証券の状況	11
• 自己資本の状況	12
• 2015年度業績目標	13
• 配当金予想	14
• 自己株式の取得	15

2015年度第2四半期業績の概要

【連結】

親会社株主中間純利益^{*1} 5,993億円

- 前年同期比206億円増益
- 通期業績目標9,500億円に対する進捗率は63%

普通株式等Tier1比率(完全実施)

- 引き続き、十分な水準を確保

株主還元

- 1株当たり年間配当予想は18円を据置き
- 総額1,000億円を上限とする自己株式取得を決議

〈連結業績〉

(単位:億円)

	14年上期	15年上期	増減
1 業務粗利益	20,129	21,091	962
2 営業費(▲)	12,355	12,889	534
3 業務純益	7,773	8,202	428
4 親会社株主中間純利益 ^{*1}	5,787	5,993	206
5 普通株式1株当たり配当(円)	9.00	9.00	0.00

〈中期経営計画 財務目標〉

(単位:円)

	14年上期	15年上期	17年度目標 (中計)
6 1株当たり利益(EPS)	40.86	42.97	14年度比 +15%以上
7 ROE ^{*2}	10.18%	9.59%	8%台後半
8 経費率	61.3%	61.1%	60%程度
9 普通株式等Tier1比率(完全実施) ^{*3}	11.4%	12.0%	9.5%以上

*1 親会社株主に帰属する中間純利益(以降、同じ)

*2
$$\frac{(\text{親会社株主中間純利益} \times 2) - \text{非転換型優先株式年間配当相当額}}{\{(\text{期首株主資本合計} - \text{期首発行済非転換型優先株式数} \times \text{払込金額} + \text{期首為替換算調整勘定}) + (\text{期末株主資本合計} - \text{期末発行済非転換型優先株式数} \times \text{払込金額} + \text{期末為替換算調整勘定})\}} \times 100$$

*3 19年3月末に適用される規制に基づく試算値

業務純益

- 海外貸出、運用商品販売、セールス&トレーディング収益が伸長、業務粗利益は増加
- 営業費は円安要因により海外経費が増加
- 業務純益は428億円増加の8,202億円

与信関係費用総額

- 個別貸倒引当金の増加を主因に310億円の費用計上

株式等関係損益

- 株式等売却益が増加

持分法による投資損益

- モルガン・スタンレーの業績伸長を主因に増加

親会社株主中間純利益

- 以上の結果、206億円増益の5,993億円

(単位:億円)

〈連結P/L〉		14年上期	15年上期	増減
1	業務粗利益(信託勘定償却前)	20,129	21,091	962
2	資金利益	10,357	10,763	405
3	信託報酬+役員取引等利益	6,613	7,001	388
4	特定取引利益+その他業務利益	3,157	3,326	168
5	うち国債等債券関係損益	893	821	▲ 71
6	営業費(▲)	12,355	12,889	534
7	業務純益	7,773	8,202	428
8	与信関係費用総額 ^{*1}	411	▲ 310	▲ 721
9	株式等関係損益	229	409	180
10	株式等売却損益	255	490	235
11	株式等償却	▲ 26	▲ 81	▲ 54
12	持分法による投資損益	1,039	1,446	407
13	その他の臨時損益	45	▲ 49	▲ 94
14	経常利益	9,498	9,699	200
15	特別損益	▲ 689	▲ 431	258
16	法人税等合計	▲ 2,425	▲ 2,589	▲ 164
17	親会社株主中間純利益	5,787	5,993	206
18	1株当たり利益(円)	40.86	42.97	2.11

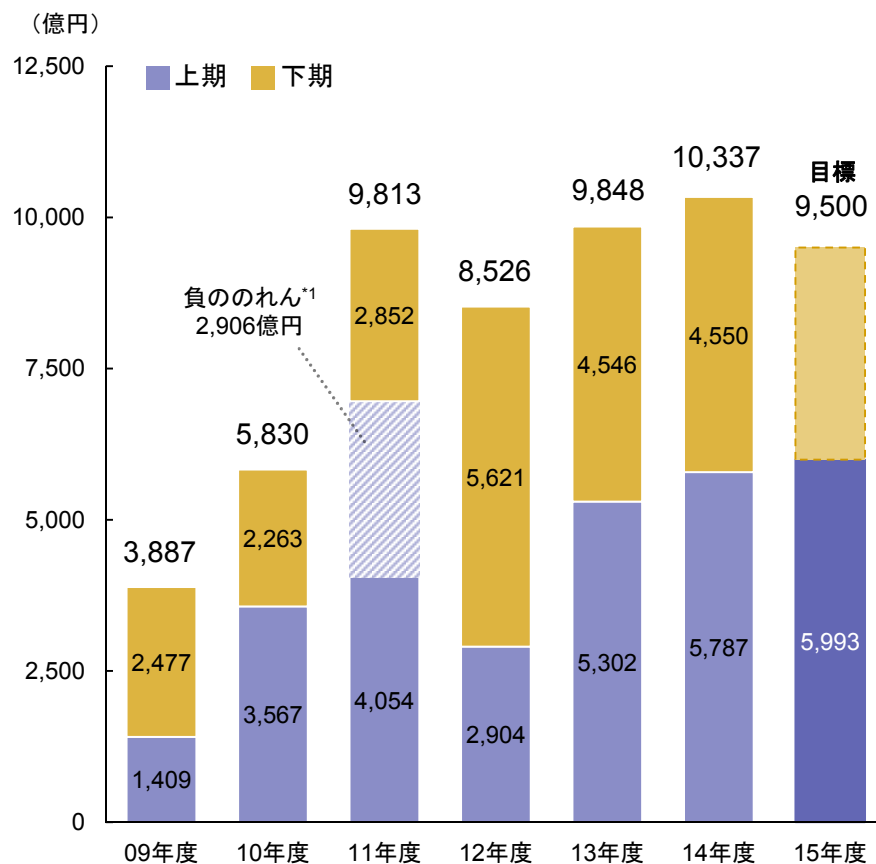
^{*1} 与信関係費用(信託勘定)+一般貸倒引当金繰入額+与信関係費用(臨時損益)+貸倒引当金戻入益+偶発損失引当金戻入益(与信関連)+償却債権取立益

親会社株主純利益の概要

【連結】

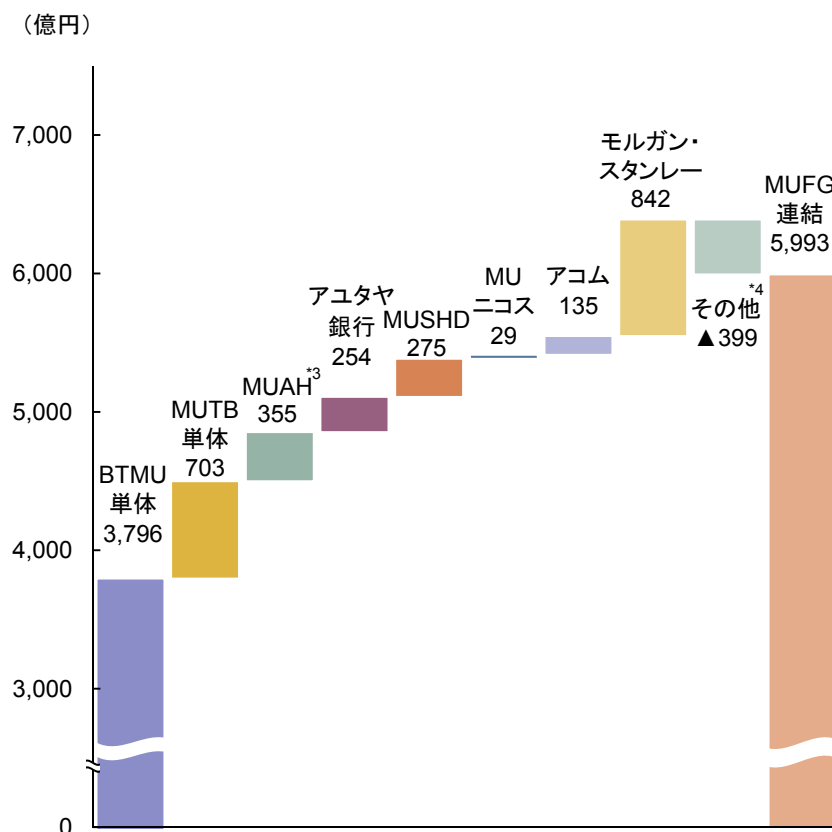
- 親会社株主中間純利益は5,993億円、通期業績目標に対する進捗率は63%
- 主要業態全てが利益に貢献

親会社株主純利益の推移



*1 モルガン・スタンレーの持分法適用関連会社化に伴う負ののれん

親会社株主中間純利益内訳*2



*2 上記子会社・持分法適用関連会社の計数は持分比率勘案後の実績

*3 MUFG Americas Holdings Corporation

*4 子会社からの受取配当金の連結消去およびグループ内での子会社株式異動に伴う損益の連結消去等

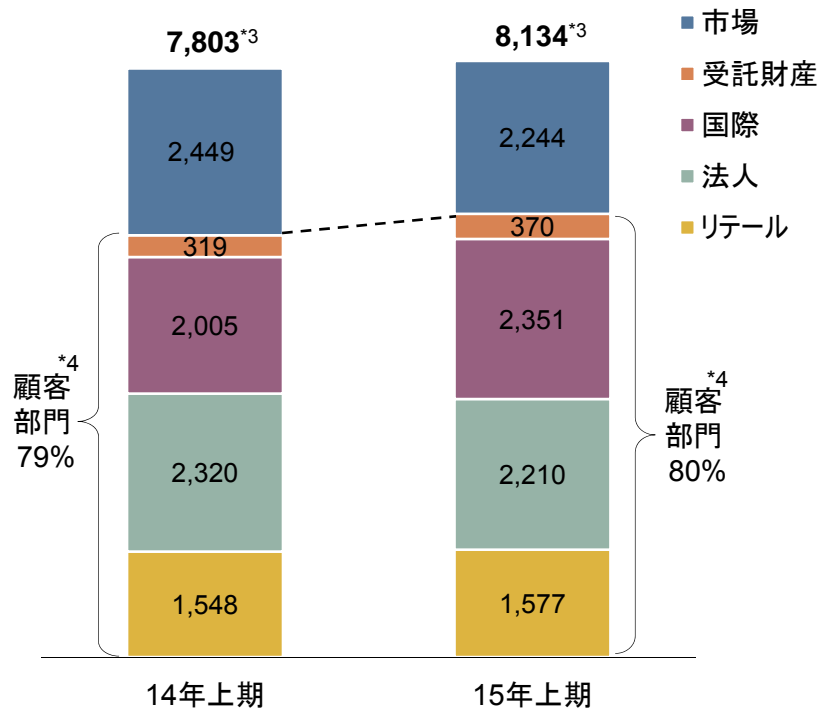
事業本部別業績概要

【連結】

- 国際・受託財産・リテールの収益伸長により、顧客部門営業純益は316億円増加。
MUFG連結営業純益は331億円増加
- 営業純益に占める顧客部門の割合は80%。そのうち、海外対顧収益比率*2は36%

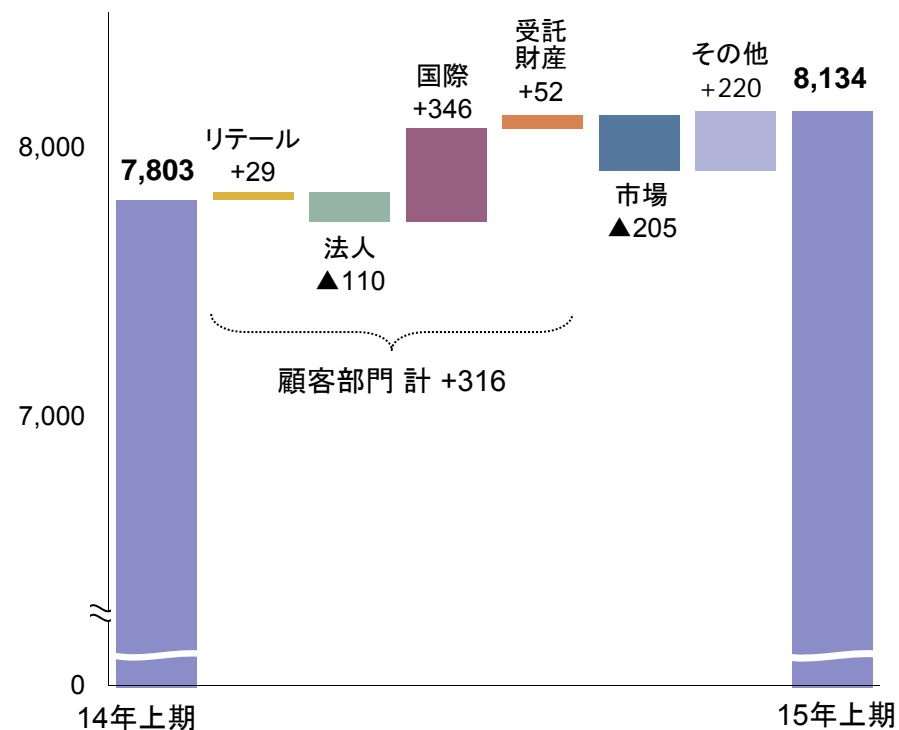
事業本部別営業純益*1

(億円)



営業純益増減内訳

(億円)



*1 管理ベースの連結業務純益 *2 海外対顧収益比率=国際÷顧客部門営業純益

*3 本部・その他(14年上期 ▲838、15年上期▲618)を含む

*4 顧客部門の割合=営業純益全体(*3)に占める顧客部門営業純益の割合

貸出金

- 国内法人貸出、海外貸出の増加により、15年3月末比増加

有価証券

- 株価の下落を主因に、国内株式残高が減少した他、国債、外国債券も減少し、15年3月末比減少

預金

- 個人預金および海外預金の増加により、15年3月末比増加

開示債権

- 開示債権残高は、要管理債権の減少を主因に、15年3月末比減少

その他有価証券評価益

- 国内株式および外国債券の評価益減少を主因に、15年3月末比減少

〈連結B/S〉 (単位:億円)

	15年9月末	15年3月末比
1 資産の部合計	2,891,650	30,152
2 貸出金(銀行勘定+信託勘定)	1,119,630	24,823
3 貸出金(銀行勘定)	[1,118,378]	[24,694]
4 うち住宅ローン ^{*1}	156,851	▲1,939
5 うち国内法人貸出 ^{*1*2}	427,057	2,489
6 うち海外貸出 ^{*3}	424,730	7,713
7 有価証券(銀行勘定)	666,991	▲68,390
8 うち国内株式	59,201	▲4,035
9 うち国債	302,154	▲49,952
10 うち外国債券	227,373	▲8,342
11 負債の部合計	2,720,451	31,828
12 預金	1,544,905	11,331
13 うち個人預金(国内店)	707,358	3,207
14 純資産の部合計	171,199	▲1,676
15 金融再生法開示債権 ^{*1}	11,642	▲590
16 開示債権比率 ^{*1}	1.08%	▲0.07%
17 その他有価証券評価損益	30,940	▲10,391

*1 2行合算+信託勘定

*2 政府等向け貸出除き

*3 海外支店+MUAH+アユタヤ銀行+BTMU(中国)+BTMU(オランダ)+BTMU(カナダ)+BTMU(マレーシア)

貸出金・預金

【連結】

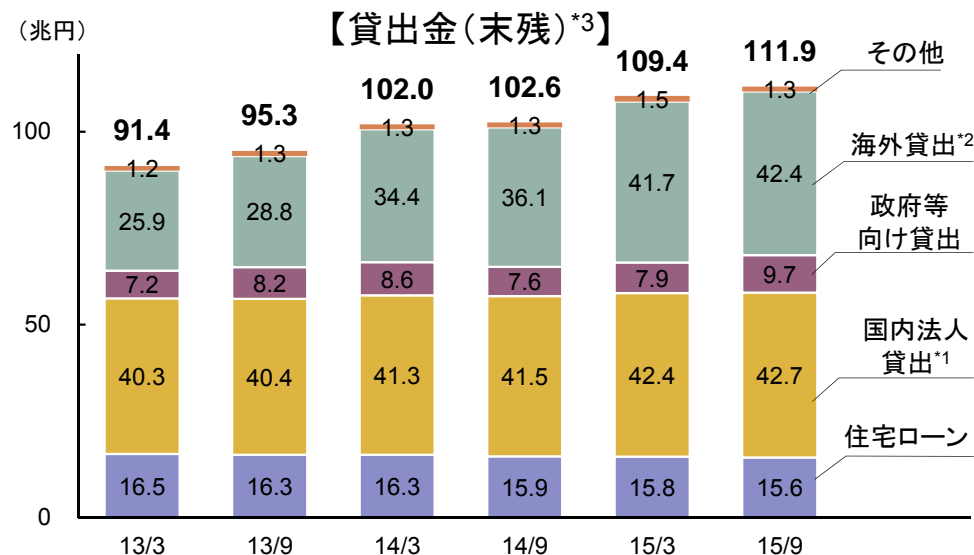
貸出金残高111.9兆円
(15年3月末比+2.4兆円)

<15年3月末比増減の主要因>

- 住宅ローン ▲0.1兆円
 - 国内法人貸出*1 +0.2兆円
 - 政府等向け貸出 +1.8兆円
 - 海外貸出*2 +0.7兆円
- (除く為替影響) (+1.0兆円)

*1 政府等向け貸出を除く

*2 海外支店+MUAH+アユタヤ銀行+BTMU(中国)+BTMU(オランダ)+BTMU(カナダ)+BTMU(マレーシア)

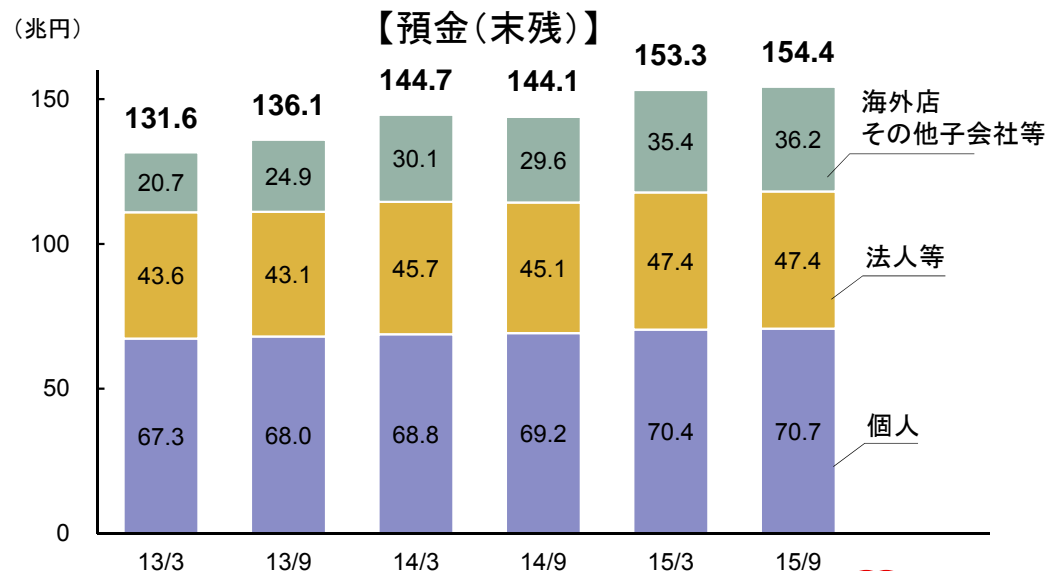


*3 銀行勘定+信託勘定

預金残高154.4兆円
(15年3月末比+1.1兆円)

<15年3月末比増減の主要因>

- 個人預金 +0.3兆円
 - 法人等預金 +0.0兆円
 - 海外店その他 +0.7兆円
- (除く為替影響) (+0.7兆円)

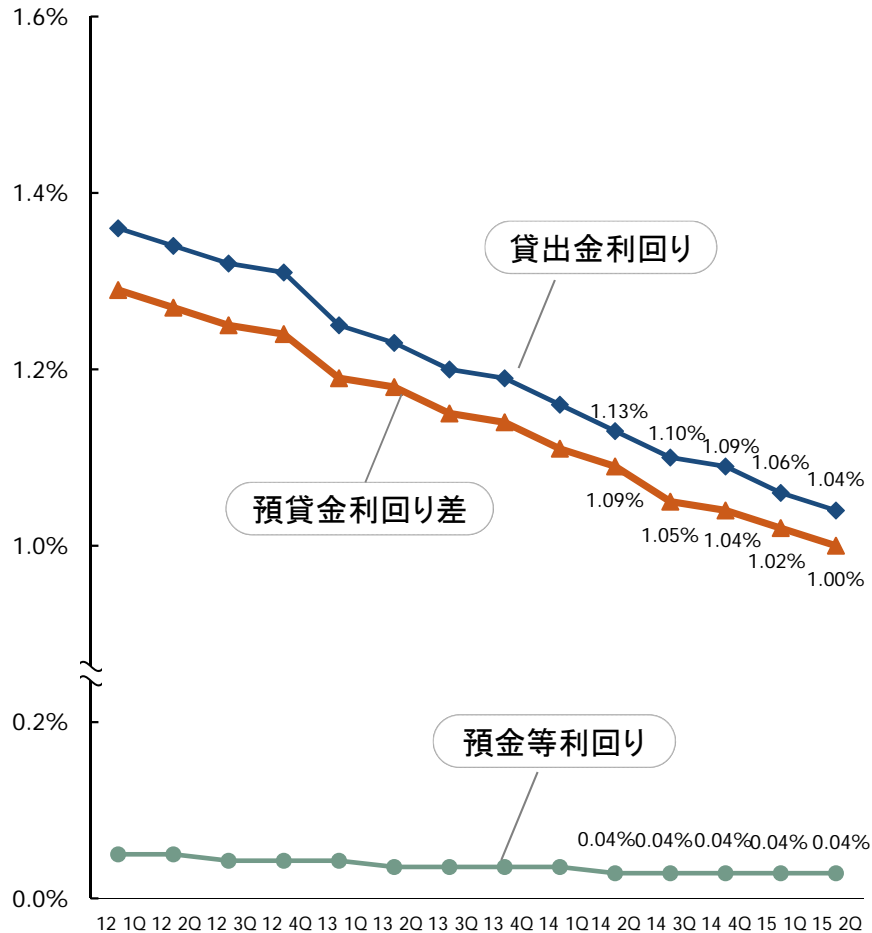


国内預貸金利回り

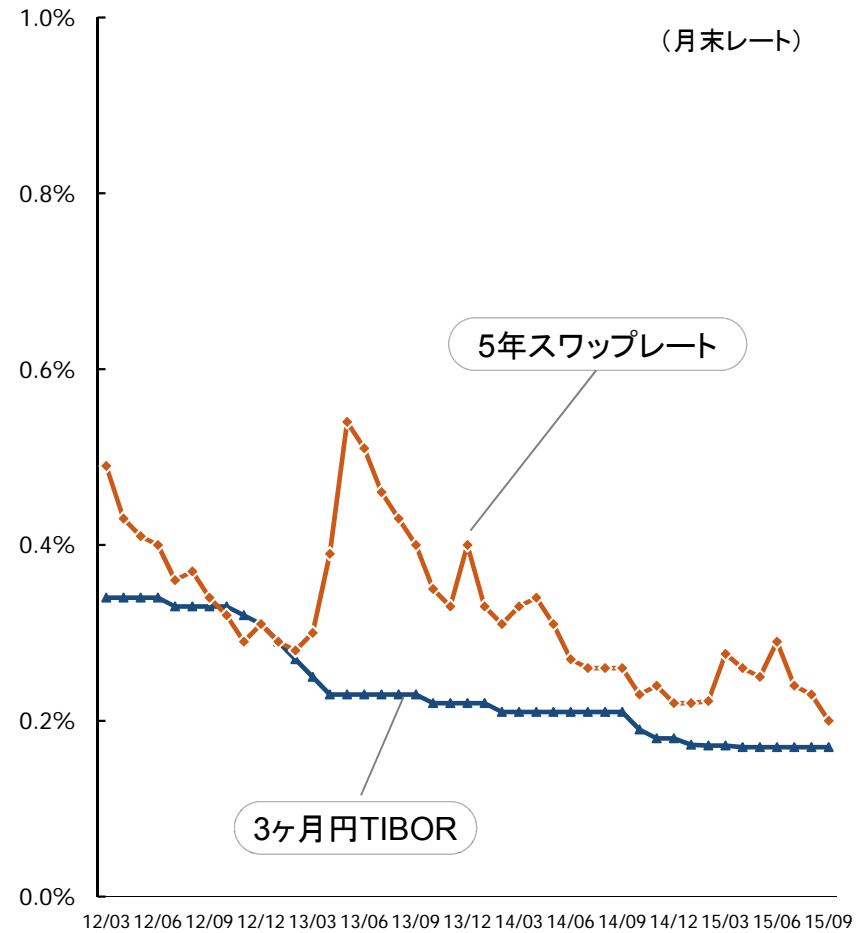
【2行合算】

- 15年度2Qの国内預貸金利回り差(政府等向け貸出除き)は、市場金利低下の影響を受けた貸出金利回りの低下により、15年度1Q比0.02%縮小

国内預貸金利回りの推移(政府等向け貸出除き)



(ご参考)市場金利の推移



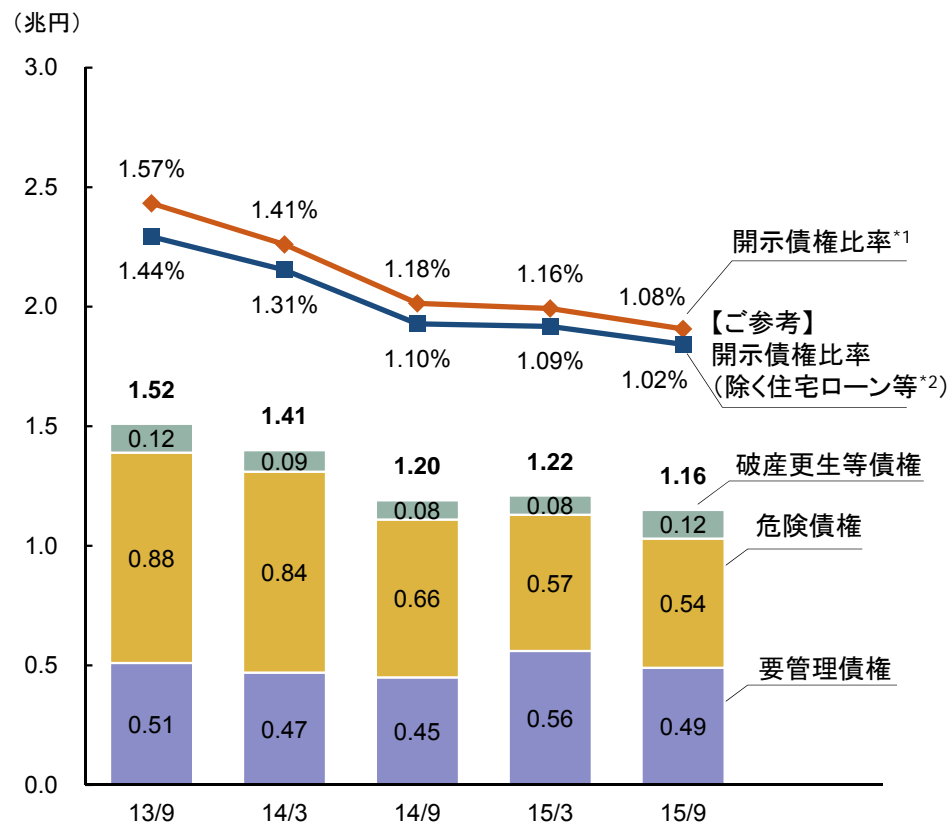
(出典 : Bloomberg)

貸出資産の状況

【連結・2行合算】

- 開示債権残高の減少、総与信の増加により、開示債権比率は15/3末比▲0.07%低下し1.08%
- 連結の与信関係費用総額は310億円の費用計上（2行合算は225億円の戻入益計上）

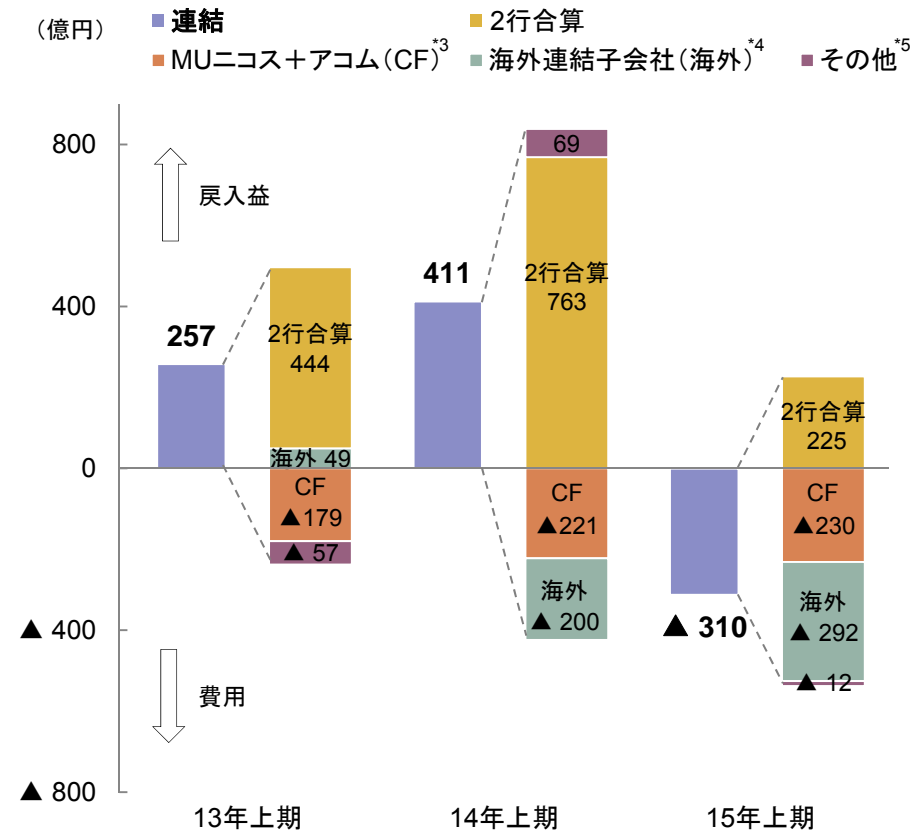
金融再生法開示債権残高（2行合算）



総与信 96.4兆円 100.4兆円 101.9兆円 105.3兆円 107.3兆円

*1 開示債権額÷総与信 *2 グループ保証会社が保証する住宅ローンの貸出条件緩和債権等を除く

与信関係費用総額



*3 各社連結ベースの合算 *4 BTMU、MUTB海外連結子会社の合算
*5 その他子会社および連結調整等

保有有価証券の状況

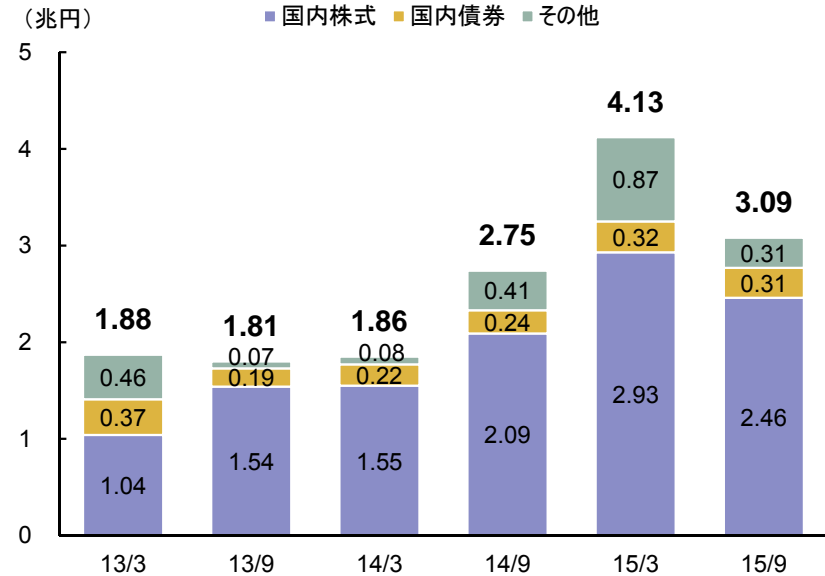
【連結・2行合算】

その他有価証券(時価あり)の内訳

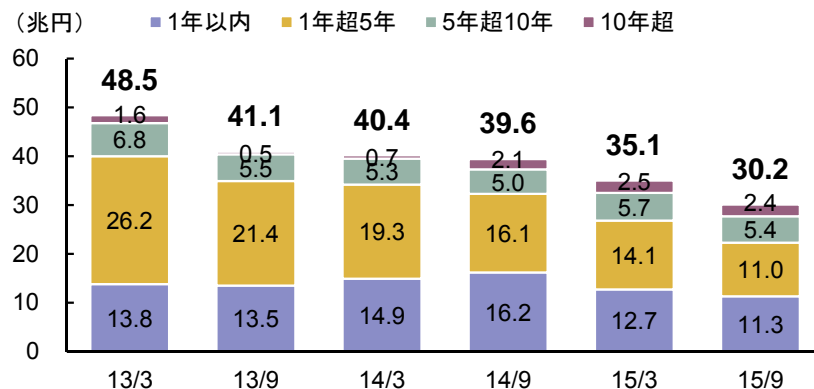
(単位:億円)

	15年9月末残高		評価損益	
	15/3末比	15/3末比	15/3末比	15/3末比
1 合計	622,036	▲71,326	30,940	▲10,391
2 国内株式	52,179	▲5,034	24,604	▲4,696
3 国内債券	315,144	▲50,057	3,168	▲94
4 国債	291,142	▲49,701	2,662	▲72
5 その他	254,711	▲16,234	3,167	▲5,600
6 外国株式	1,337	▲576	21	▲562
7 外国債券	215,050	▲10,599	3,065	▲2,907
8 その他	38,324	▲5,058	80	▲2,129

その他有価証券評価損益の推移

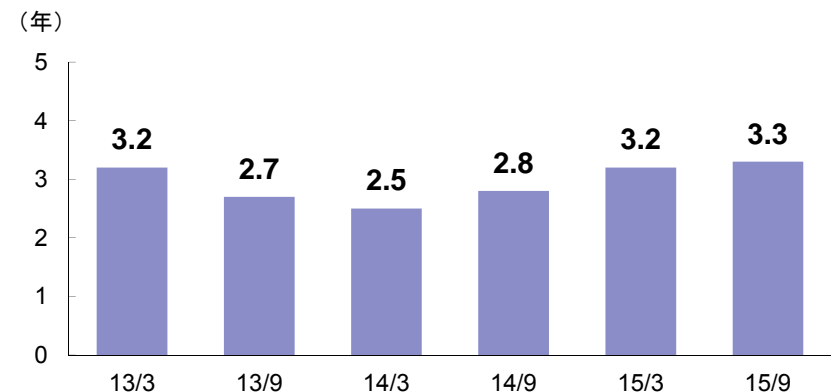


国債の残存期間別残高(2行合算)*1



*1 その他有価証券および満期保有目的の国債

デュレーション(国債のみ・2行合算)*2



*2 その他有価証券

(単位:億円)

自己資本額

- その他有価証券含み益が減少した一方、利益剰余金および劣後債務が増加
- 普通株式等Tier1資本が1,053億円増加、総自己資本は略横這い

リスクアセット

- 信用リスクアセット : ▲3.0兆円
与信先の格上げ等を主因に減少
- フロア調整額^{*1} : +3.1兆円

普通株式等Tier1比率

- 完全実施ベース^{*2} : 12.0%
- 同上(有価証券含み益除き) : 10.0%

レバレッジ比率

- 段階実施ベース : 4.67%

	15年3月末	15年9月末	15年3月末比
1 普通株式等Tier1比率	11.09%	11.23%	0.13%
2 Tier1比率	12.58%	12.73%	0.15%
3 総自己資本比率	15.62%	15.69%	0.06%
4 普通株式等Tier1資本	124,666	125,719	1,053
5 うち資本金・資本剰余金	35,699	35,678	▲20
6 うち利益剰余金	78,604	83,580	4,976
7 うちその他の包括利益累計額	15,957	13,562	▲2,394
8 その他Tier1資本	16,637	16,822	185
9 うち優先株式・優先出資証券・劣後債務	12,602	12,602	-
10 うち為替換算調整勘定	5,709	5,884	175
11 Tier1資本	141,303	142,541	1,238
12 Tier2資本	34,219	33,086	▲1,132
13 うち劣後債務	19,449	21,104	1,654
14 うちその他有価証券含み益	11,085	8,383	▲2,701
15 総自己資本 (Tier1+Tier2)	175,523	175,628	105
16 リスクアセット	1,123,152	1,119,253	▲3,899
17 信用リスク	982,922	952,740	▲30,182
18 マーケットリスク	25,117	19,891	▲5,225
19 オペレーショナルリスク	66,446	66,354	▲92
20 フロア調整	48,666	80,266	31,600

*1 バーゼルⅠとバーゼルⅢの乖離による調整額

*2 19年3月末に適用される規制に基づく試算値

2015年度業績目標

【連結・単体】

- 2015年度の連結親会社株主純利益目標は9,500億円を据置き

(単位:億円)

〈連結〉	2014年度		2015年度		
	中間期 (実績)	通期 (実績)	中間期 (実績)	通期	年度初目標比
1 与信関係費用総額	411	▲ 1,616	▲ 310	▲ 1,200	+100
2 経常利益	9,498	17,130	9,699	15,800	+200
3 親会社株主純利益	5,787	10,337	5,993	9,500	-

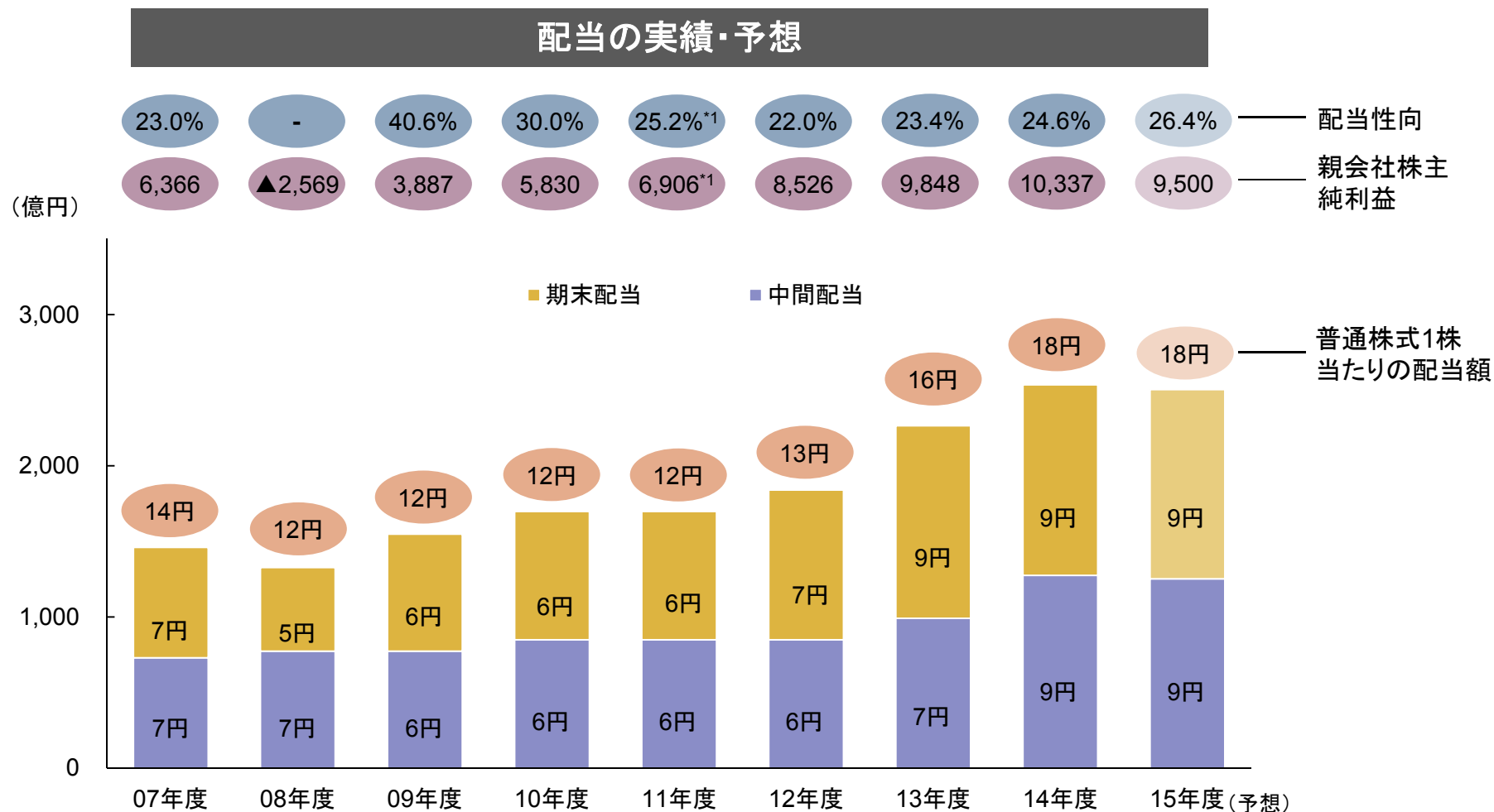
〈三菱東京UFJ銀行〉

4 実質業務純益	4,906	9,314	4,804	8,400	+750
5 与信関係費用総額	669	▲ 707	212	0	-
6 経常利益	5,472	9,026	5,383	8,700	+1,000
7 当期純利益	3,544	5,717	3,796	6,100	+800

〈三菱UFJ信託銀行〉

8 実質業務純益	889	1,904	956	1,850	+100
9 与信関係費用総額	93	▲ 4	13	▲ 50	+50
10 経常利益	1,101	2,100	995	1,850	+150
11 当期純利益	733	1,407	703	1,400	+250

- 普通株式1株あたりの中間配当は9円、年間配当予想18円を据置き



*1 11年度はモルガン・スタンレーの持分法適用関連会社化に伴う負ののれんを除く

- 株主還元の充実、資本効率の向上および機動的な資本政策の遂行を可能とするため、自己株式を取得することを決議

自己株式取得の概要

取得する株式の種類	当社普通株式
株式の取得価格の総額	1,000億円(上限)
取得する株式の総数	1億4,000万株(上限) (発行済株式総数(除く自己株式)に対する割合:1.01%)
取得期間	2015年11月16日～2015年12月31日

(ご参考)2015年10月31日時点の自己株式の保有

発行済株式総数(除く自己株式) : 13,912,491,774株

自己株式数 : 256,362,046株